

臨床教育学ゼミ 紹介

高橋 亜希子

臨床教育学ゼミ

- 最近の教育問題、教育に関して
- 学校と実際に関わりながら考えていく
- 研究方法: 質的研究法が主

教育への関心

- 高橋の研究テーマ

中高生の学校における自己形成の支援

探究学習

高大接続改革

年間の流れ

- Q1 授業(3年生 文献購読 4年生 卒論発表)
- Q2 学校訪問(3年生)
- Q3 授業(4年生の卒論発表が中心)
 - ※ 3年生フィールドワーク:グループに分かれて
学校現場(学童、保育園など)を訪問
- Q4 3年生フィールドワーク発表、4年生倫理申請
 - ※ 互いのレポートや卒論を読みあう機会があります

研究テーマ例

教育に関わって
いる人に実際に
会ってみよう

- 統合保育を行う保育士の不安と支え
- 学び合いを促す教師の発話に関する検討-生徒の発言のつなげ方に着目して-
- 放課後児童クラブ指導員の専門性
 - 子どもと関わる場面での判断と決定に焦点を当てて-
- 小・中学生の自己肯定感に影響を及ぼす教師の関わりの検討
- 小学校教師の学校給食における児童への関わり方の検討ー教育的側面に焦点を当ててー
- 総合型地域スポーツクラブでの活動が高齢者に及ぼす影響

ゼミ志望者へ

- 志望前の面談を必須としています

- 高橋の担当授業

「子ども・学校論」「臨床教育学」

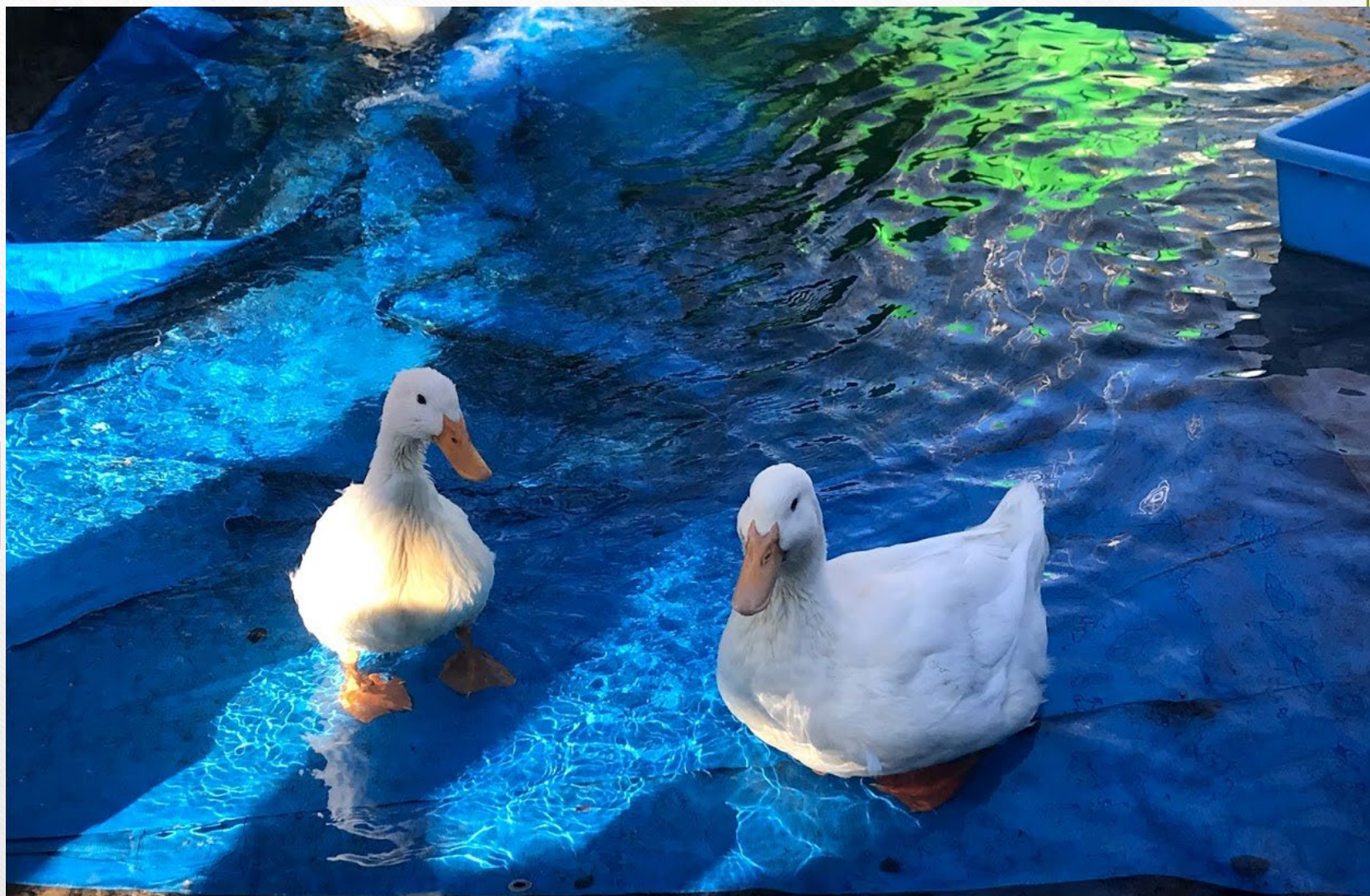
「心理人間学基礎演習ⅡB」「教育課程論」

- 要望科目(卒業まで)

質的研究法Ⅰ・Ⅱ

ゼミ見学もいらして
みてください

- 現在の教育に関して話し合ったり、考えたりということが中心のゼミです。現在の教育に関わる題材を扱うため、教育現場や教育問題、教員養成について考えたいテーマを持っていること、教育への関心を持っていることが必要です。
- プロジェクトとして、①テーマに関する背景資料、指導要領などの公文書の記述、先行研究を押さえる、②テーマに関わるフィールドでのインタビューや観察などのデータ分析を行う、の2点の作業を通して考察を深めていきます
- 現在の教育について考えるには、現在の教育の状況や学校を知ることが必要です。ゼミで学校訪問の情報提供をするので、積極的に参加してください。教育実習を予定していたり、人間関係フィールドワーク、ボランティアなどで教育現場と関わる機会があったり、教育学関係科目を履修しておくことが望ましいです。統計法を卒論で用いる人は、教育心理学、発達心理学、心理測定法(心理学研究法)など、発達・学習に関わる科目や測定法の科目を履修してください



よろしくお願ひします (2018年小学校訪問時のアヒルさん)